



2025年3月期（第49期） 中間期決算補足説明資料 (First Half of FY2025 | 49th Business Year)

2024年11月8日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

- 1 中間期決算サマリー P.3～
- 2 セグメント別概況 P.5～
- 3 財務状況 P.9～
- 4 業績・配当予想－2025年3月期（第49期）－ P.12

売上高は過去最高を更新

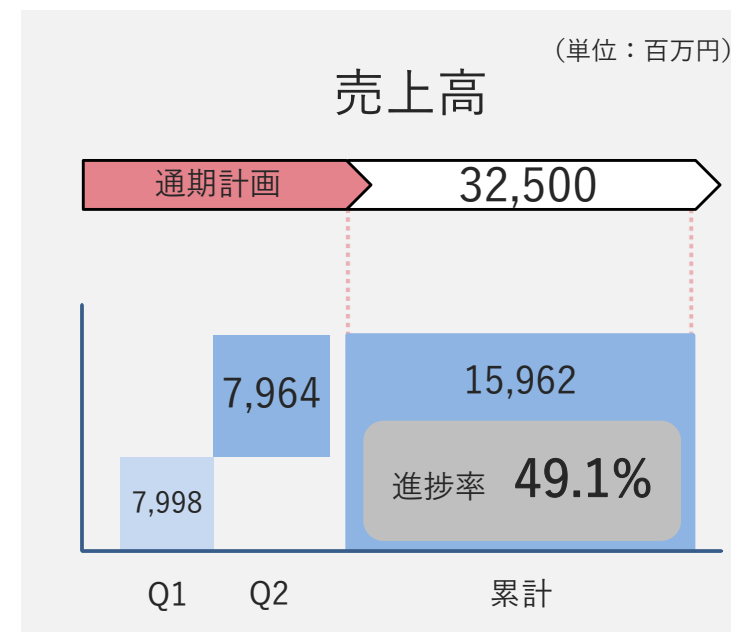
各利益は前中間会計期間からの反動増と計画通りの案件進捗により増益

(単位：百万円)

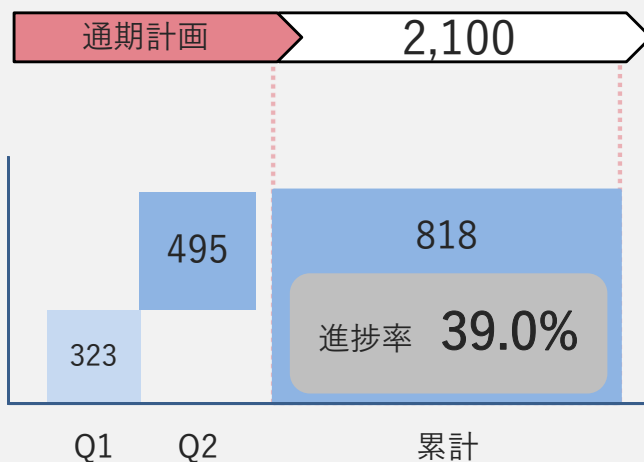
	2024年3月期				2025年3月期		前中間会計期間比	
	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	通期 実績	Q1 実績	Q2 実績	増減額	増減率
売上高	7,310	15,166	23,026	31,509	7,998	15,962	796	5.3%
営業利益	236	651	1,220	1,974	323	818	166	25.6%
経常利益	217	644	1,212	1,971	335	834	189	29.4%
純利益	148	439	824	1,406	229	569	130	29.7%

通期計画に対し、売上高・各利益ともに
50%を下回るも、計画の達成確度は変わらず

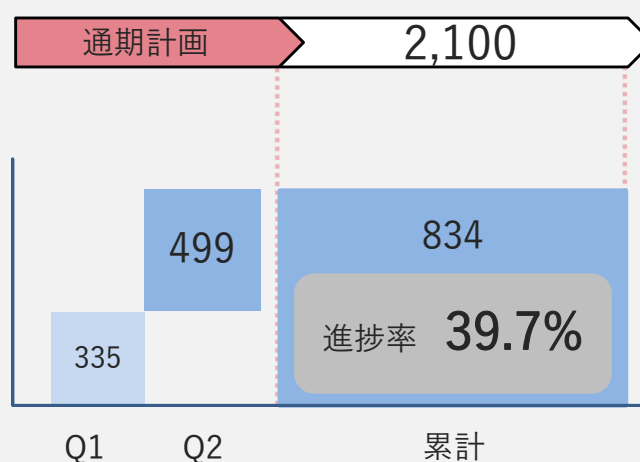
- ・ 進捗遅れの案件があるも、概ね事業は計画通り
- ・ 下期偏重の見込み



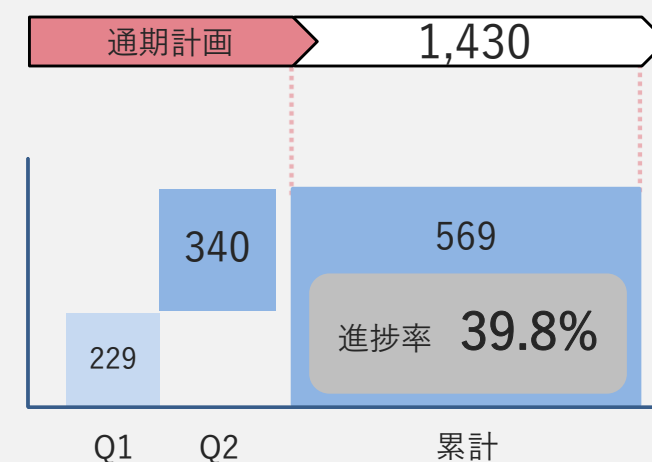
営業利益



経常利益



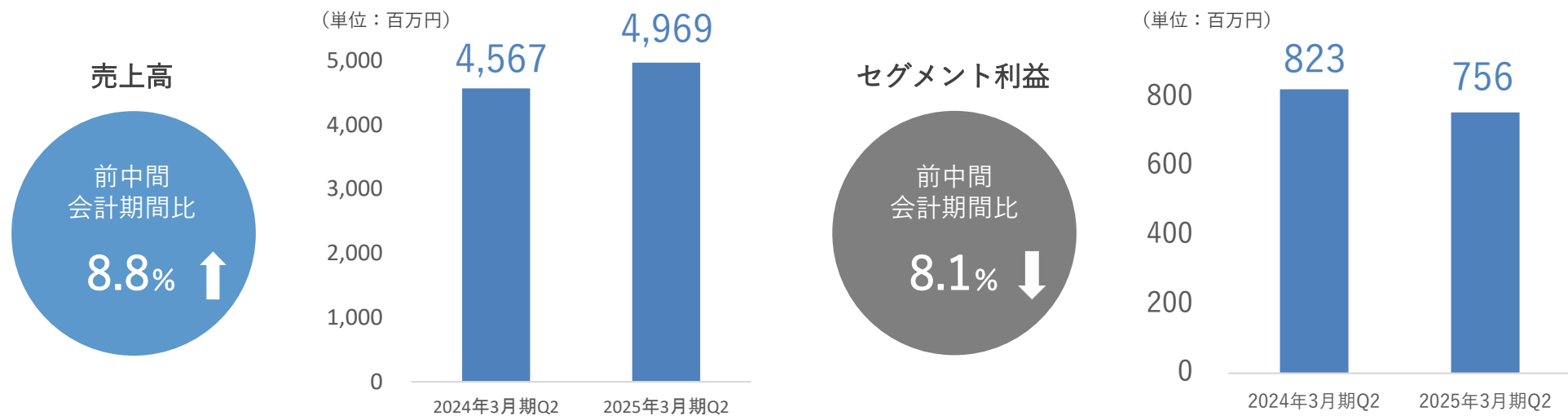
純利益



公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼動後の運用・保守

公共案件全体が堅調な一方、一部法人案件に進捗遅れが発生



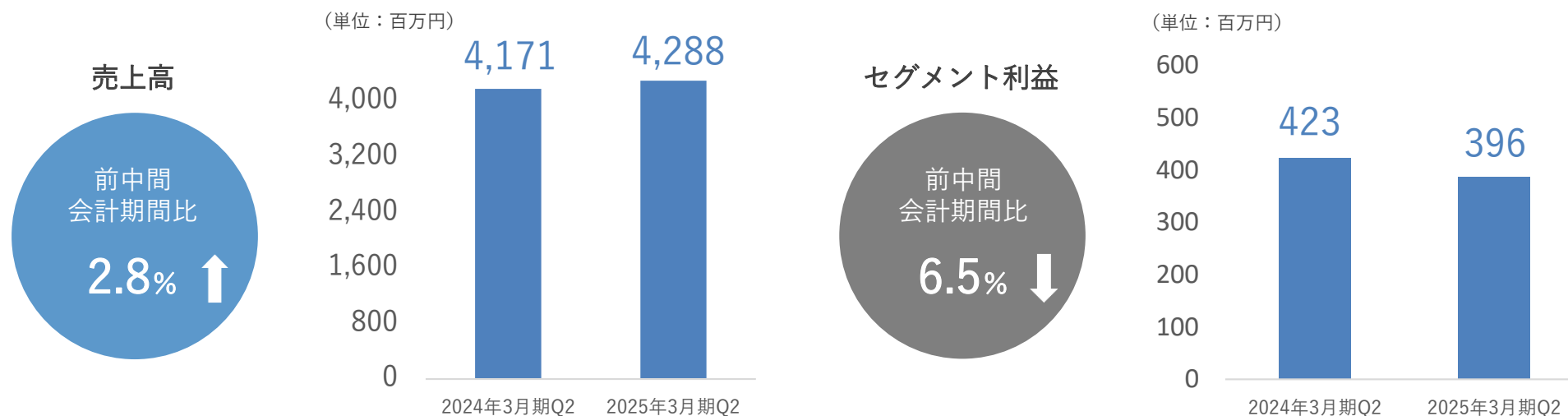
Ⅰ eLTAX、医療、社会保障等が堅調に推移して成長を下支え。

Ⅰ マイナンバー関連は、各案件が小規模ながらも増加傾向。

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

インフラ関連が好調に推移した一方で、開発フェーズ比率の低下が収益に影響

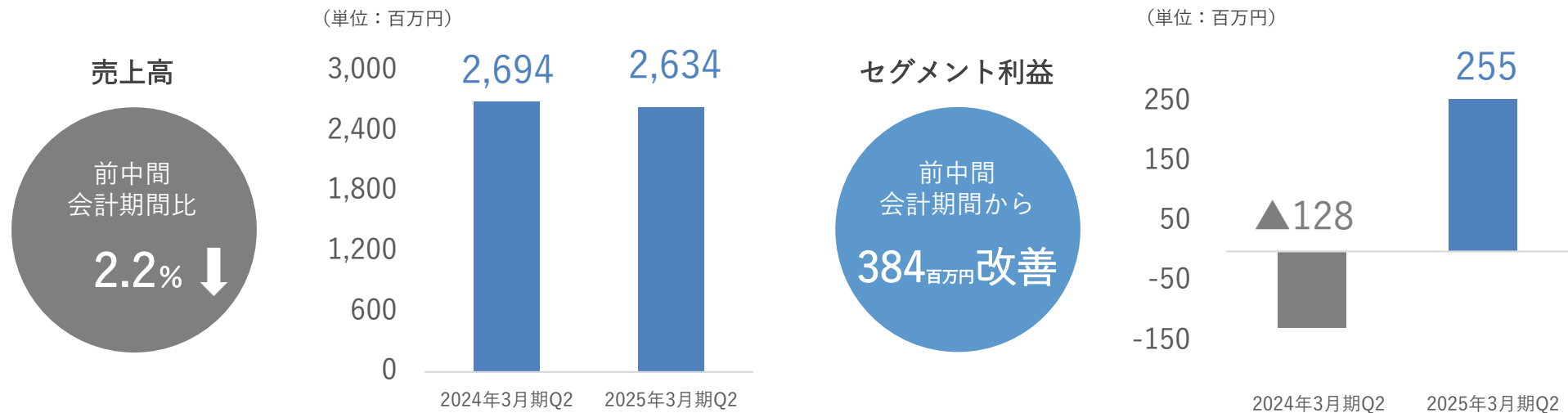


- ┃ 利益率の高い開発フェーズから運用・保守フェーズに移行した案件が重なる。
- ┃ intra-mart、Biz J 関連は、手堅く計画通りに進捗。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

前期に生じた不採算案件の反動増に加え、既存案件が計画通りに進む

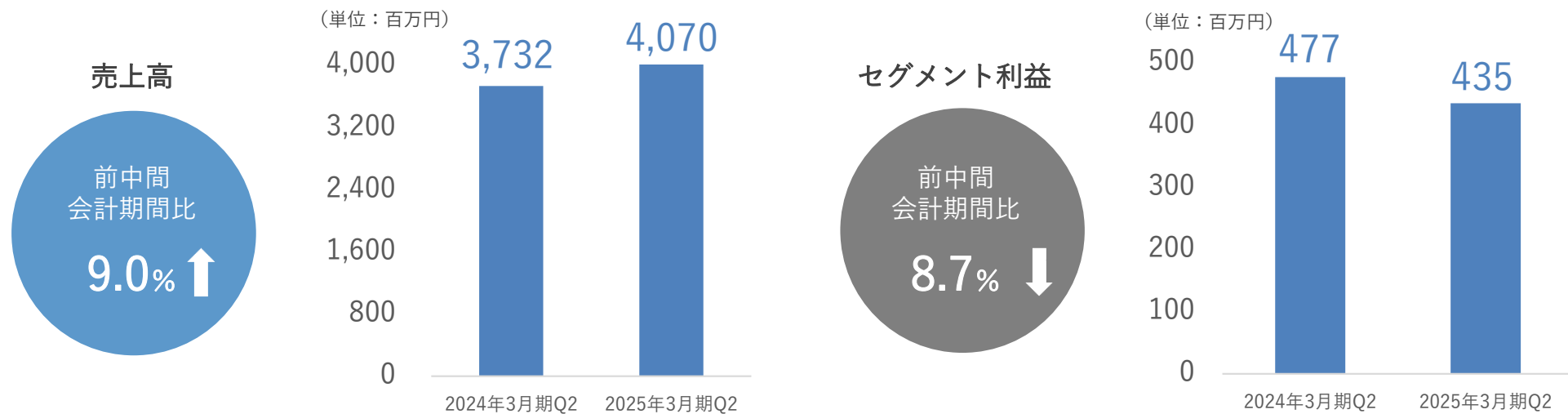


- ┃ ローコードを用いた開発案件の取込みは順調。
- ┃ 通信・組込み関連は、安定した受注環境を背景に堅調。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

インフラ関連が堅調も、前期の高収益案件の反動を受ける

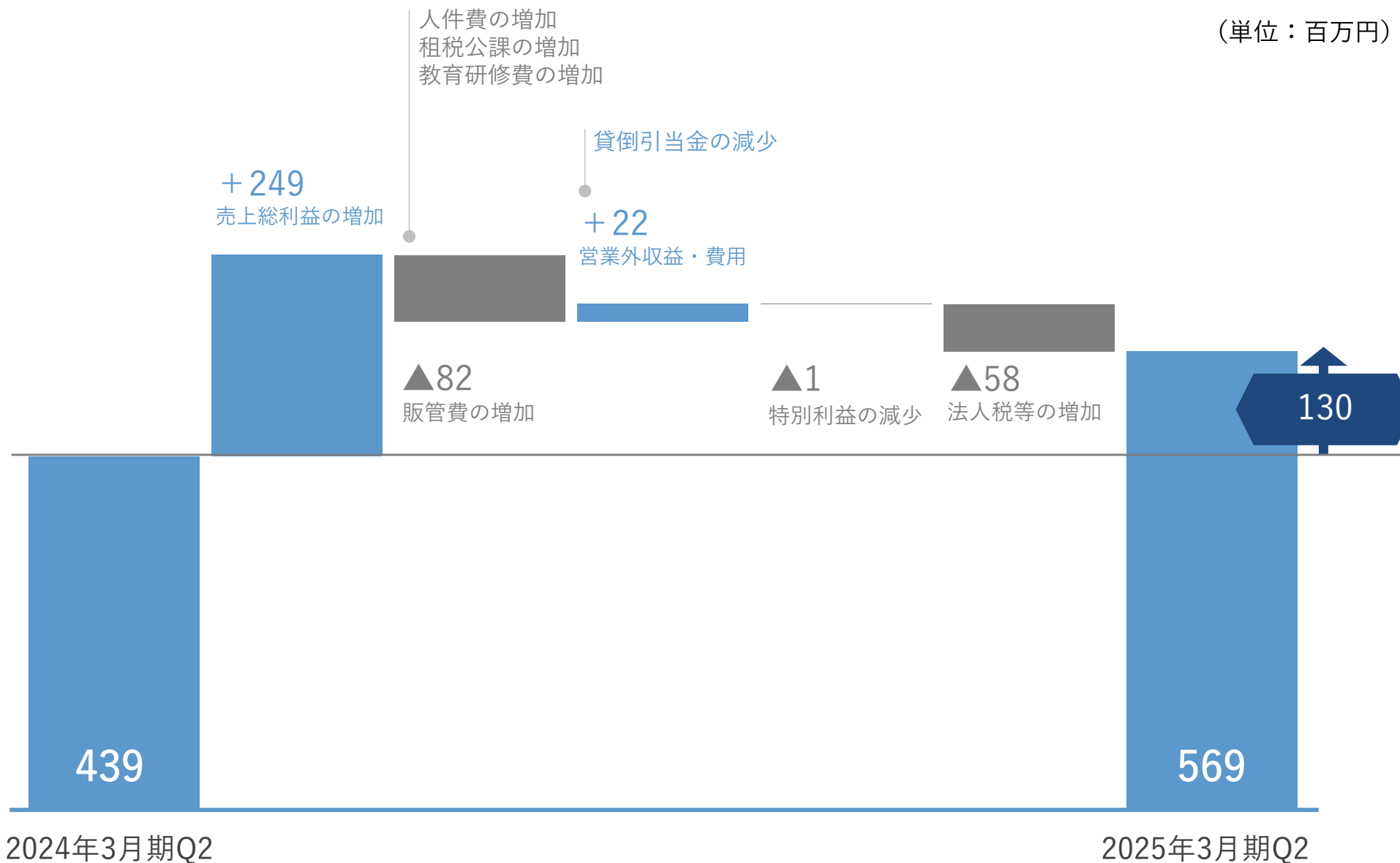


- Ⅰ 依然として根強い需要があるメインフレームも、案件の取りこぼしなく堅調。
- Ⅰ 自社製品販売は、開発・品質向上を進めるなか、セキュリティ・IoT共に横ばいで推移。

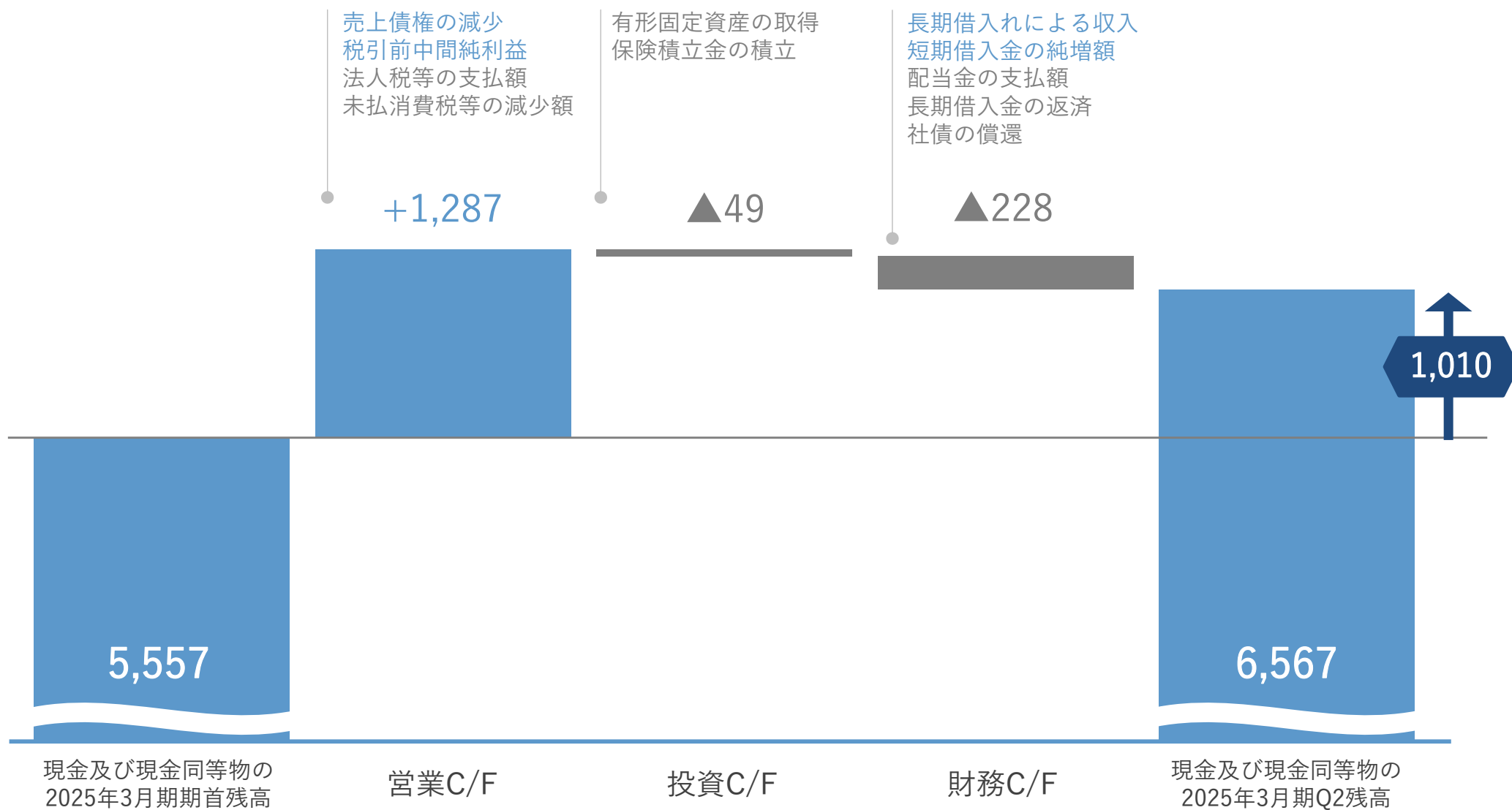
(単位：百万円)

	前事業年度	当中間会計期間	
(資産の部)			
流動資産	13,089	12,963	前事業年度末と比較し222百万円減少 (主な増加理由) ・現金及び預金の増加 1,012百万円 (主な減少理由) ・売掛金及び契約資産の減少 1,128百万円 ・投資有価証券の減少 58百万円
固定資産	7,900	7,803	
有形固定資産	3,548	3,524	
無形固定資産	120	93	
投資その他の資産	4,232	4,186	
資産合計	20,989	20,767	
(負債の部)			
流動負債	6,150	5,879	前事業年度末と比較し280百万円減少 (主な増加理由) ・賞与引当金の増加 292百万円 (主な減少理由) ・未払消費税等の減少 222百万円 ・買掛金の減少 209百万円 ・未払法人税等の減少 175百万円
固定負債	1,422	1,412	
負債合計	7,572	7,292	
(純資産の部)			
株主資本	11,744	11,844	前事業年度末と比較し58百万円増加 (主な増加理由) ・繰越利益剰余金の増加 85百万円 (主な減少理由) ・その他有価証券評価差額金の減少 41百万円
資本金	2,905	2,905	
資本剰余金	2,177	2,188	
利益剰余金	7,003	7,089	
自己株式	△342	△339	
評価・換算差額等	1,672	1,630	
純資産合計	13,416	13,474	
負債純資産合計	20,989	20,767	

(単位：百万円)



(単位：百万円)



I業績予想は維持。中間配当は計画通り実施。

II株当たりの年間配当金は、38.00円（中間配当6.00円＋期末配当32.00円）

		2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減率
売上高	(百万円)	31,509	32,500	3.1%
営業利益	(百万円)	1,974	2,100	6.4%
経常利益	(百万円)	1,971	2,100	6.5%
当期純利益	(百万円)	1,406	1,430	1.7%

		2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
1株当たり当期純利益	(円)	93.13	94.59
1株当たり配当金	(円)	<div style="text-align: right;">38.00</div> <hr style="width: 100%;"/> (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 32.00	<div style="text-align: right;">38.00</div> <hr style="width: 100%;"/> (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 32.00
配当性向	(%)	40.8	40.2

今後とも、ご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



テクノロジーに、ハートを込めて。

本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入しています。本資料は2024年11月8日現在で入手可能な情報、未だ生じていない仮定等を基に作成しております。従いまして、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表示内容の確実性について、当社が保証するものではありません。